事業概要【新唐津曳山展示場（仮称）整備事業】

旧制度（拠点）

申請者	佐賀県唐津市	初回採択回	令和６年度第２回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	1,000,000千円 （904,900千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	老朽化が著しかった唐津曳山展示場の改築により、ユネスコ無形文化遺産である唐津くんちの曳山を保存・展示するに相応しい新曳山展示場を整備し、デジタル技術を取り入れた効果的でインパクトの高い情報配信を行うことで、新たな唐津の歴史・文化・まちの拠点をつくるもの。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	新曳山展示場は、くんちシアターやくんち体験コーナーなど、デジタル機能を活用しながら現代のニーズに対応する展示手法を採用し、ユネスコ無形文化遺産である唐津くんちの曳山行事を紹介するに相応しい機能を持つ施設として整備するものである。本事業は、新市民会館との合築で、共用部の展示ギャラリーでは、デジタルサイネージを活用し、他の観光文化施設の開館・イベント情報、観光情報の発信することで、市の観光文化の核となる施設である。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費　804,900千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【展示制作費】 展示制作費　100,000千円 ●令和7年度交付対象事業経費 建築工事費、展示制作費　計 904,900千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋501,000千円） ②新唐津曳山展示場（仮称）の入場者数（＋56,647人） ③新唐津曳山展示場（仮称）デジタルスタンプラリーのチェックイン人数（＋25,000人） ④新唐津曳山展示場（仮称）の入場者におけるくんちシアターと体験コーナーへの入館率（＋90%）	関連URL	調整中